

保育園における使用済み紙おむつの持ち帰りについて

現在、保育園では、子どもの健康管理や不調の早期発見につながるため、使用済み紙おむつは保護者が持ち帰っています。

昨今では、感染症の問題などもあり、保護者や保育士の負担軽減や衛生面を重視した対応、つまり使用済み紙おむつの施設内処分の検討を含め、保護者ニーズを把握するため、令和3年11月にアンケートを実施しました。

アンケート結果や記述いただいた意見を参考に検討をした結果、下記の対応とします。

記

<今後の対応>

アンケート結果から、使用済み紙おむつの「持ち帰り」と「施設内処分」の賛否は概ね拮抗していました。しかし、0歳児の保護者からは紙おむつの持ち帰りは体調不良や不調の早期発見につながるとの意見が複数ありました。0歳児は特に体調を崩しやすい年齢であり、市としましても0歳児の保護者の意見は尊重する必要があると考えます。そのため、今後も今までどおり、使用済み紙おむつは保護者の皆様に持ち帰っていただくこととします。

(参考)

1. 対象者（一色保育園を除く公立保育園0歳児から2歳児の園児の保護者） 384人

2. アンケート実施結果

(1) 回答総数 272人（回答率70.8%）

(2) 集計結果

①持ち帰った紙おむつの数や中身を確認するか。

「確認する」及び「時々確認する」 47.4%

「確認しない」 52.6%

②子どもの健康管理、体調不良の早期発見につながると思うか。

「そう思う」 25.4%

「思わない」 39.3%

「わからない」 35.3%

③持ち帰りについて、どう思うか。

「今までどおり持ち帰りでもいい」 44.1%

「持ち帰りをやめて、保育園で処分してほしい」 55.9%

④持ち帰ることが負担になっているか。

「負担である」及び「どちらかといえば負担」 47.1%

「負担でない」及び「あまり負担でない」 52.9%